

震災被災地巡り現状知る

神田外語大1年生が来県



双葉町の民家を訪れ、町の現状に理解を深める学生

神田外語大グローバル・リベラルアーツ学部（GLA学部）の一年生五十二人は三日、被災地を視察して茨浜通りを訪問し、東日書に関する教養を深

め、グローバル化社会で活躍するために必要な力をつけてもらいたいとして企画した。学生は双葉町の東日本大震災・原子力災害伝承館、富岡町の東京電力廃炉資料館を訪ね、被災地の現状に理解を深めた。このほか、双葉町内を歩いたり、避難先から集まった町民との意見交換会を実施したりした。

初めて本県の被災地を訪れた岩瀬未久さん（ひし）は「町内の民家が震災当時のまま残されているのを見て、女

て被害の大きさを感じた」と話していた。学生は七日、天栄村の英語研修・宿泊施設「フリティッシュヒルズ」でイスラエルの大学とオンラインで合同授業を受ける。